

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童・生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和3年5月17日

学校名 福井市清水北小学校

校長氏名 小川 晶裕

1 今年度の目標（学校の約束）

- ①清水北校区の環境、地球環境について学習します。
- ②学校で節電・節水に努めます。
- ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。

2 取組内容

①環境学習

- ・自然、省エネ・省資源、環境教育に関する授業を行います。
- ・各学年で栽培活動に取り組み、自然を大切にする態度を育みます。

②節電・節水の取り組み

- ・委員会で節電を呼びかけ、使用していない場所が点灯していないか点検し消灯しに行くなど、全校で節電に取り組みます。

③地域と連携して分別回収

- ・古紙やアルミ缶の回収をPTAや地域と連携して実施します。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載して下さい。）

①の環境学習では、地域の里山にある樹木を観察したり、植樹したりすることで、周囲の環境や他の生物と関わり合いながら生きていることを学び、ふるさとの環境を守ろうとする気持ちを育てます。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 清水北小学校											
1 今年度の目標（学校の約束） ① 清水北小学校区の環境、地球環境について学習します。 ② 学校で節電・節水に努めます。 ③ ごみを減らし、リサイクルに努めます。											
2 取組内容 ① 環境学習 ・朝顔や野菜を育て、成長の過程を観察し、咲いた朝顔で作品を作ったり収穫した野菜を食べたりした。（1、2年） ・清水北地区里山の会の講師を招き、環境学習を含めた里山と人の暮らしの関わりについて学んだ。（3、4年） ・地域の農業法人（片粕ファーム）の方の協力のもと、稲の生育状況の観察・稲刈りを体験した。（5年） ・3年時にどんぐりを植えて育ててきた苗を北っ子の森に植え、里山の再生について学習した。（6年） <table border="1" data-bbox="153 1111 1477 1451"> <tr> <td data-bbox="153 1111 483 1346">  </td> <td data-bbox="483 1111 810 1346">  </td> <td data-bbox="810 1111 1137 1346">  </td> <td data-bbox="1137 1111 1477 1346">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="153 1346 483 1451"> さつまいも調理 （2年） </td> <td data-bbox="483 1346 810 1451"> どんぐり教室 （3、4年） </td> <td data-bbox="810 1346 1137 1451"> 稲刈り体験（5年） </td> <td data-bbox="1137 1346 1477 1451"> どんぐり植樹（6年） </td> </tr> </table>								さつまいも調理 （2年）	どんぐり教室 （3、4年）	稲刈り体験（5年）	どんぐり植樹（6年）
											
さつまいも調理 （2年）	どんぐり教室 （3、4年）	稲刈り体験（5年）	どんぐり植樹（6年）								
② 節電・節水の取組 ・水道から出る水は、どのようにしてきれいにしているのか、またそのための工夫や努力について学んだ。（4年） ③ 地域と連携して分別回収 ・地域の方の協力を得て、8月と11月に資源回収を行った。											
★ ESDポイント ①の環境学習では、地域の里山にある樹木を観察したり、植樹したりすることで、周囲の環境や他の生物と関わり合いながら生きていることを学ぶことができた。（相互性・多様性）											

3 見直し	【具体的効果】 ①地域の方のご協力のおかげで、児童が自分の地域の環境について知ったり親しんだりすることができた。実体験を通して、里山への関心が高まってきた。 ③クリーンセンターの見学を通して、ごみの量や分別への意識の変化が見られた。
	【改善点】 ・総合的な学習の時間や生活科の時間を活用し地域の環境学習に取り組むことができた。活動内容を工夫して、少ない時間数でできるように工夫していきたい。 ・環境に関わる取組を各学級で行った。各学年でリサイクル活動や資源を大切にする取り組みがなくならないように計画していきたい。 ・新型コロナウイルス感染症対策で委員会としての取組が十分でなかったなので、環境委員会を活用した取組を計画していきたい。